

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: osk\_CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	鶴原団地住宅(1~5棟)建替第二期	階数	地上5F
建設地	大阪府泉佐野市下瓦屋206-1、207-	構造	RC造
用途地域	第2種中高層住居専用地域、法22条	平均居住人員	105人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年11月 予定	評価の実施日	2017年4月24日
敷地面積	3,876㎡	作成者	中村 知矢
建築面積	608㎡	確認日	2017年5月2日
延床面積	2,285㎡	確認者	中村 知矢



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

0 46 92 138 (kg-CO<sub>2</sub>/年・㎡)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質 Qのスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.5

音環境	3.0
温熱環境	4.0
光・視環境	3.0
空気質環境	3.7

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.8

機能性	2.6
耐用性	3.1
対応性	2.7

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.2

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.5

**LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5**

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.2

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.0

水資源	3.4
非再生材料の	3.0
汚染物質	3.0

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2

地球温暖化	4.4
地域環境	2.3
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
居住者(従前)の意向をふまえた住まいづくり 地域における建て替えのモデルとなる新しい住宅地づくり 周辺と調和をもった住宅地づくり	0	
<b>Q1 室内環境</b> 外壁に関しては内断熱とし、屋根は外断熱を採用し、外部からの熱の流入を抑制するとともに空調負荷の低減に配慮した。	<b>Q2 サービス性能</b> 建築基準法及びバリアフリー法をクリアし、安全で快適な環境に配慮した。 1階は高齢者や障害者に配慮したバリアフリー型住戸とした。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 緑地を効果的に配置し、地表表面温度や地表表面近傍の気温上昇の抑制に配慮した。 歩道沿いに緑地を配置し、植栽に親しむことができるように配慮した。
<b>LR1 エネルギー</b> 公営住宅等整備基準の断熱性能をクリアし、空調負荷の低減に配慮した。 高効率型の給湯器とLED照明を採用し、エネルギー消費の削減に配慮した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 生品、及び、再資源化可能な材料を積極的に採用するように努める計画とした。	<b>LR3 敷地外環境</b> 緑地及び雨水浸透樹で雨水流出を抑制し、環境負荷低減に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2017年版

## 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H29-0021

Osakafu-新築・既存 2017V1.0

<b>【建物概要】</b>		建物名称	鶴原団地住宅(1～5棟)建替第二期工事				
		建設地	大阪府泉佐野市下瓦屋206-1, 207-1, 208-1, 209, 238の一部, 239, 240の一部, 242, 243, 1147の一部, 水路				
		用途/区分	集合住宅				
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価	★★★★☆			B+		
	CO2削減	★★★★☆			4		
	省エネ対策	★★★★☆			4		
	みどり・ヒート アイランド対策	★★★★☆			2		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						対象外	
<b>【評価項目】</b>							
省エネルギー対策		① CO2削減					
		② 省エネ対策					
項目		評価内容			スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			4.4	4	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体	4		
				住戸・宿泊			
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価			4.0	4	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価			3.0		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価			5.0		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価			3.0		
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価			3.4		
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	—		
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策					
項目		評価内容			スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			1.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			2.0		
その他							
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項		
特に配慮した事項		公営住宅等整備基準の断熱性能をクリアし、空調負荷の低減に配慮した。高効率型の給湯器とLED照明を採用し、エネルギー消費の削減に配慮した。					